

石神井公園ふるさと文化館

ふれあい土曜事業 毎週土曜日開催イベント

石神井公園ふるさと文化館では、毎週土曜日、いろいろなものづくりや体験ができる催しを行っています。申込は、当日先着順です。
①の定員を超えた場合は②の整理券を配ります。

春告げ鳥 うぐいす笛を作って遊ぼう

4月4日(土) ①13時～ ②14時～
定員:各回20名 参加費:200円



いろいろ端で聞く昔ばなし

4月11日(土) ①13時～ ②14時～
定員:なし 参加費:無料



フェルトでこいのぼりを作るう

4月18日(土) 13時～15時
定員:30名 参加費:300円



石神井公園ふるさと文化館を探検しよう

4月25日(土)、5月23日(土)、6月27日(土)
いずれも 13時～16時 定員:なし 参加費:無料



タイムスリップ! 昔の衣装体験

5月2日(土) 13時～15時
定員:なし 参加費:無料



いろいろ端で楽しむ紙しばい

5月9日(土) ①13時～ ②14時～
定員:なし 参加費:無料



よく飛ぶ! 折り紙ヒコーキ

5月16日(土) ①13時～ ②14時～
定員:各回20名 参加費:無料



【企画展開連】ピクトグラムで作るオリンピックカレンダー

5月30日(土) ①13時～ ②14時～
定員:各回20名 参加費:100円



手ぬぐいで作る 夏色あづま袋

6月6日(土) ①13時～ ②14時～
定員:各回20名 参加費:200円



いろいろ端で聞く昔ばなし

6月13日(土) ①13時～ ②14時～
定員:なし 参加費:無料



七夕にかざるちがや馬を作ろう

6月20日(土) 13時～15時
定員:30名 参加費:100円

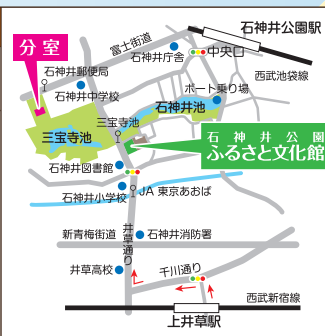


※各催しの開催時期・内容は変更になることがあります。また、募集時期・申込方法については、ねりま区報や当館ホームページ等でお知らせします。

利用のご案内 (令和2年3月現在)

開館時間 9時～18時(会議室の利用は、9時～21時30分) **入館無料** ※特別展は有料
休館日 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日

	石神井公園ふるさと文化館	徒歩10分	分室
最寄駅	- 西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分 - 西武新宿線「上井草駅」下車 徒歩25分		西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分
バス	- 西武バス 「JA東京あおば」下車 徒歩5分 - 荻14 (石神井公園駅南口～上井草駅～荻窪駅) - みどりバス「JA東京あおば」下車 徒歩5分 - 関町ルート (関町福祉園～武蔵関駅南口～上石神井駅～練馬高野台駅～順天堂練馬病院) - 西武バス「三宝寺池」下車 徒歩2分 - 荻15 (長久保～大泉学園駅南口～上井草駅～荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)		- 西武バス 「石神井郵便局」下車 徒歩1分 - 吉60 (成増町～石神井公園駅北口～上石神井駅～吉祥寺駅) - 荻15 (長久保～大泉学園駅南口～上井草駅～荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)



石神井公園ふるさと文化館ニュース Vol.35

令和2(2020)年3月1日発行

編集・発行 練馬区立石神井公園ふるさと文化館(指定管理者:公益財団法人練馬区文化振興協会)

ホームページ <https://www.neribun.or.jp/furusato.html>

石神井公園ふるさと文化館 〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16 TEL 03-3996-4060 FAX 03-3996-4061

石神井公園ふるさと文化館分室 〒177-0045 東京都練馬区石神井台1-33-44 TEL 03-5372-2572 FAX 050-3352-2983

石神井公園

2020.3 Vol.36

ふるさと文化館ニュース

Newsletter of Nerima Shakujiikoen Furusato Museum

スポーツの祭典1964 —オリンピックと練馬—

企画展



オリンピック開会式(館蔵)

令和2(2020)年

4月18日(土) ▶ 6月10日(水)

企画展 「スポーツの祭典1964ーオリンピックと練馬ー」

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせ、オリンピックと練馬区域の人々との関わり、昭和39(1964)年の東京オリンピックに向けての盛り上がりや、前後の地域の変化などを紹介します。

- 会 期: 4月18日(土)～6月10日(水)
- 会 場: 石神井公園ふるさと文化館2階 企画展示室
- 観覧料: 無料

関連イベント

① 企画展関連講演会1「オリンピックにかけた人生」

※申込締切 4月7日(火)必着

講 師: 三宅 義信(第18回東京オリンピック・重量挙げ金メダリスト)
日 時: 4月29日(水・祝) 14時～15時30分
定 員: 90名(抽選) 参加費: 無料
会 場: 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室

①の申し込み方法 往復ハガキまたは電子メールにて、下記必要事項を記入の上、お申込みください。

①講演会名 ②氏名(ふりがな、2名まで) ③住所 ④電話番号
〔送付先〕〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16 石神井公園ふるさと文化館
〔メール〕event-furusato@neribun.or.jp

② 企画展関連講演会2「暮らしを振り返るー東京・練馬の生活革命ー」

講 師: 松井 かおる(東京都江戸東京博物館学芸員)
日 時: 5月10日(日) 14時～16時
定 員: 90名(先着順) 参加費: 無料
会 場: 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室

③ 企画展関連講演会3「オリンピックと東京の変容」

講 師: 初田 香成(工学院大学建築学部准教授)
日 時: 5月17日(日) 14時～15時30分
定 員: 90名(先着順) 参加費: 無料
会 場: 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室

②・③の申し込み方法 4月11日(土)より電話(03-3996-4060)にて

*このほか、展示解説会などを開催します。詳しくは、本展チラシ、当館ホームページ、またはねりま区報4月11日号(予定)をご覧ください。



オリンピック記念のソノシート(館蔵)



オリンピック開会式の前日
国立競技場の聖火台に登る
階段に菊の鉢を並べる
練馬農業協同組合の人々
(浅見喜代司氏蔵)

「10周年今日はわくわくDAY」中止のご案内

前号でお知らせしました「10周年今日はわくわくDAY」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となりました。

なお、10月10日(土)・11日(日)は石神井公園ふるさと文化館10周年記念として「うれしい! たのしい! 2日間」を開催する予定です。マルシェやゲーム大会のほか、お楽しみ企画が盛りだくさんです!

詳細は決まり次第、当館ホームページ等でお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴うイベント等の中止について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、今後、本誌記載イベントのほか当館が主催するイベント等が中止となる場合がございます。

イベント等の実施につきましては、当館までお問合せいただくか、当館ホームページにてご確認いただきますようお願いいたします(随時更新いたします)。

皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

分室特集展示 「音楽とことば」

フランス文学者で文芸評論家・音楽評論家の栗津則雄(1927年～)、時代小説家でクラシック音楽評論の数々に今もファンの多い五味康祐(1921～80年)などが書いた音楽評論やエッセイなどを紹介し、自筆原稿や書籍、パネルなどで音楽とことばの世界をさぐります。

練馬区立美術館での展覧会「ショパンー200年の肖像」(会期: 4月26日(日)～6月28日(日))に連携して分室で行う小展示です。

- 会 期: 4月18日(土)～6月28日(日)
- 会 場: 石神井公園ふるさと文化館分室1階展示室
(石神井松の風文化公園管理棟内)

● 観覧料: 無料



五味康祐自筆資料「LP帳」
昭和28(1953)年3月8日

会期中のイベント 関連コンサート 4月26日(日) ピアノによるミニコンサート「ショパンの思い出」
5月31日(日) 黒田正己ミニコンサート「黒田三郎の詩と弾き語り」

分室 コラム 「五味さんとショパン」

「聴いているうちに私は近来にない感動をおぼえた。ショパンを誤解していたのに気づいたのである。「甘美な」といった一言で片付けられているならとんでもない話で、ショパンくらい男性的な作曲家は稀ではないだろうか。」当時37歳の五味康祐(「柳生もの」の時代小説で一世を風靡し、音楽評論家・オーディオ評論家でもあった。)は『藝術新潮』連載「五味康祐LP帳」昭和33(1958)年9月号に記しています。

率直に自身の思い込みを反省し、ショパンの生涯を振り返りつつ、「猛々しいものが時に甘美の表現をとる」不思議を語ります。

生原稿には、ショパンの楽曲を放送する放送局の「いい音」への努力を熱望する文章も遺っています。戦中派の五味康祐の胸にショパンの祖国愛が鳴っていい「アナウンサー用もいいマイクを使い」(ショパンに言及)「(いい音いい音楽)掲載」



五味康祐 自筆原稿
「アナウンサー用もいいマイクを使い」(ショパンに言及)
「(いい音いい音楽)掲載」

石神井公園ふるさと文化館サポーター コラム 「東京オリンピックの思い出」

ふるさと文化館には、案内やイベントのお手伝いをするサポーター(ボランティア)が活動しています。今回は、サポーターの光橋孝司さんのコラムをご紹介します。

昭和39(1964)年、多くの国民が永い間待ち望んでいたオリンピックが開催された。私は会社の要請で原宿にある体育館(水泳競技)へ出向した。プールサイドのすぐ近くにある管理室には企業関係者が多数参加しており、国家的なプロジェクトであるため大変緊張し責務を実感した。

NHK大河ドラマ「いだてん」で描かれた金栗四三は、私と同じ熊本出身であり、我が国最初のオリンピックマラソン選手として出場した事から誇りに思っている。現役引退後は、東京箱根間往復大学駅伝競走や他の駅伝競走のほか、女子のスポーツ発展にも尽力した。その後、関係者の努力により第18回オリンピック東京大会開催実現へ。今年、東京で2回目を迎える訳だが、日本選手の活躍を期待している。私の人生の中で強く印象に残る思い出と言えるだろう。

令和2年度 展覧会年間予定(特別展は有料)

事業名	会期
企画展 スポーツの祭典1964ーオリンピックと練馬ー	4月18日(土)～6月10日(水)
企画展 終戦75年銃後の生活(仮称)	6月20日(土)～8月15日(土)
特別展 大根展～練馬大根の今昔(仮称)	9月12日(土)～11月1日(日)
特別展 昭和のこどもたち(仮称)	11月28日(土)～令和3(2021)年1月16日(土)
特別展 ワニの『わににわに』絵本シリーズ展(仮称)	令和3(2021)年1月23日(土)～3月21日(日)